

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 13 号

第 13 週 (3月 27 日 ~ 4月 2 日)

発行年月日:平成18年(2006年) 4月 10日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

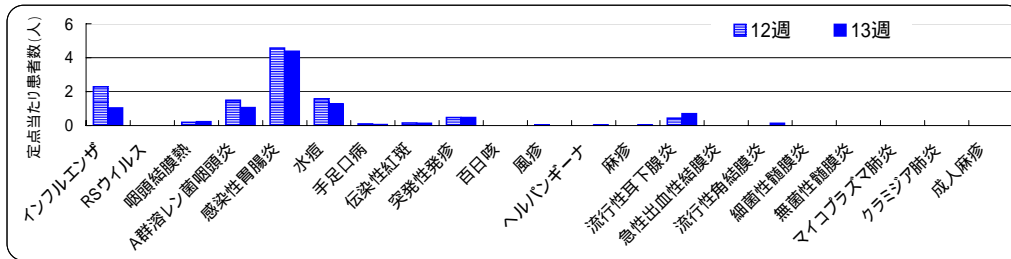
今週の感染症発生動向

腸管出血性大腸菌感染症の発生

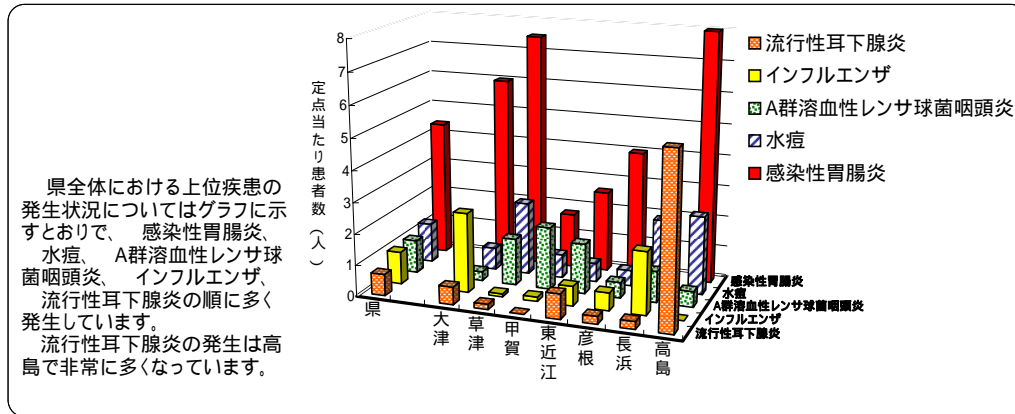
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(3月20日~3月26日)の報告数よりさらに少なくなっています。今週、増加した疾患は咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です。減少した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、伝染性紅斑等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

今週は、全数把握対象である三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第13週、定点当たり患者数)



腸管出血性大腸菌感染症(O157等)の予防について

滋賀県における平成18年第13週(3/27~4/2)現在の発生状況は、今週、平成18年になりはじめての届出が1件ありました。昨年の初回発生時期(第28週、7/11~7/17)よりかなり早くなっており、今後、増加する可能性があるため発生予防に対する注意が必要です。

<発生予防に対する注意>

- 1. 十分な手洗いをする** 排便後、食事の前、下痢をしている子供や高齢者の排泄物の世話をした後は、せっけんを使い流水で十分に手を洗う。
- 2. 調理時の注意**
 - 1) 食材などは、流水で十分に洗う。
 - 2) 加熱調理時は、食品の中心温度が75℃、1分以上となるよう十分に加熱する。
 - 3) 調理した食品は、なるべく早く食べる。
 - 4) まな板、包丁などの調理器具は、漂白剤や熱湯で消毒し清潔にしておく。
- 3. 家族内の2次感染を防ぐ** 家族内に下痢などの症状を示す人がいる時は、
 - 1) 便を処理した後の手洗いを十分にする。
 - 2) 入浴時の混浴を避ける。
 - 3) トイレや入浴時のタオルの共用を避ける。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (13週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (13週)	全国 (13週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	124	^{(*)3} 7	556
	腸チフス	0	0	15	0	50
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	109	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	^{(*)4} 15	0	40
	A型肝炎	0	0	^{(*)4} 77	1	168
	オウム病	0	0	6	1	34
	デング熱	0	0	9	1	73
	マラリア	0	0	7	0	66
	レジオネラ症	0	2	87	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	3	148	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	53	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	45	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3	30	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	2	270	7	1,161
	ジアルジア症	0	0	14	0	81
	梅毒	0	2	124	0	555
	破傷風	0	0	11	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	15	2	65
	急性脳炎	0	1	^{(*)4} 55	2	180

- * 1: 平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
- * 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。
- * 3: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。
- * 4: 平成18年第11週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

全国における全数報告感染症の発生状況 - iDWR2006年第11週、3/13～3/19より -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: デング熱	1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	14例
二類感染症: 細菌性赤痢	レジオネラ症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	7例
コレラ	A型肝炎	5例	バンコマイシン耐性	
腸チフス	五類感染症: アメーバ赤痢	4例	腸球菌感染症	2例
三類感染症: 腸管出血性	ジアルジア症	1例	劇症型溶血性レンサ	
大腸菌感染症	梅毒	5例	球菌感染症	2例
	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	2例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

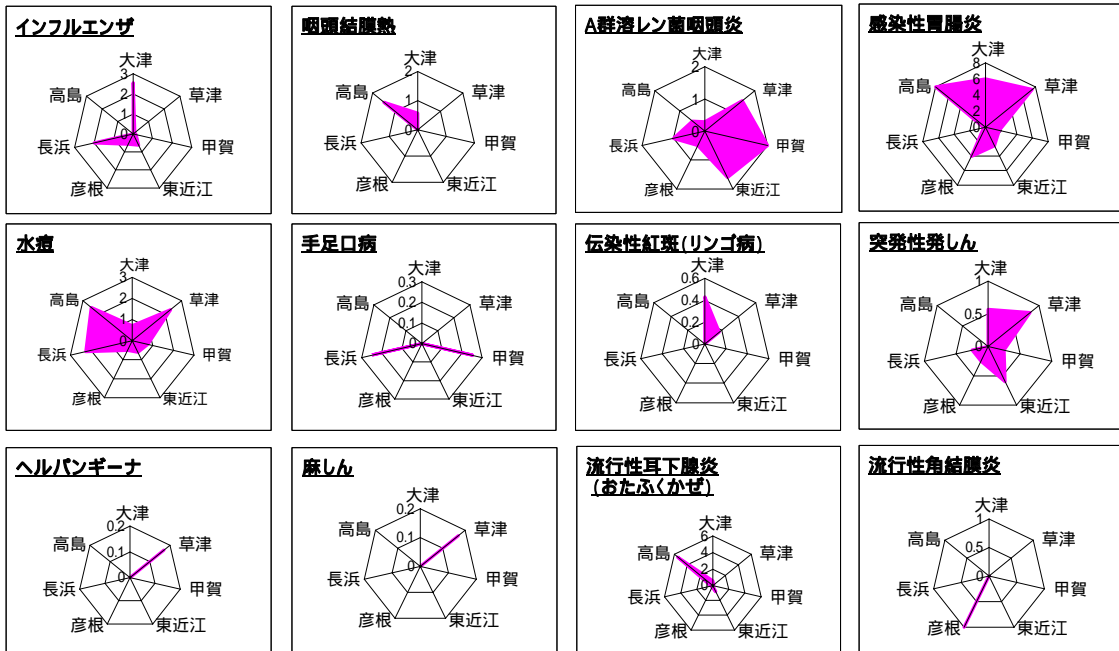
(1) 疾病別・週別発生状況(第8週～13週、2/20～4/2)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加)						前週と同じ				前週より減少)			
	8週		9週		10週		11週		12週		13週		14週	
	(2/20～)	(2/27～)	(3/6～)	(3/13～)	(3/20～)	(3/27～)	9	10	11	12	13			
インフルエンザ	9.10	6.39	4.35	3.22	2.29	1.04								
RSウイルス感染症	0.03	0	0.03	0.03	0	0								
咽頭結膜熱	0.03	0.22	0.25	0.13	0.19	0.22								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.81	1.19	1.13	1.25	1.50	1.06								
感染性胃腸炎	5.16	6.03	5.53	6.38	4.56	4.38								
水痘	1.28	1.28	1.34	1.50	1.56	1.28								
手足口病	0.13	0.06	0.16	0.25	0.09	0.06								
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.09	0.19	0.25	0.16	0.13								
突発性発しん	0.38	0.53	0.91	0.41	0.47	0.47								
百日咳	0	0	0	0	0	0								
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0.03	0								
ヘルパンギーナ	0	0.06	0	0	0	0								
麻しん(成人麻しんを除く)	0.06	0	0	0	0	0.03								
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.75	0.78	0.47	0.59	0.44	0.69								
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0								
流行性角結膜炎	0	0.57	0	0.29	0	0.14								
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0								
無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0								
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0								
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0								
成人麻しん	0	0	0	0	0	0								

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第13週、3/27～4/2)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	1.04	2.55	0.10	0.14	0.63	0.57	2.00	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.22	0.57	0	0	0	0	0	1.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.06	0.29	1.50	2.00	1.60	0.50	1.00	0.50	
感染性胃腸炎	4.38	6.00	7.50	1.75	2.60	4.00	0.25	8.00	
水痘	1.28	0.71	2.33	0.75	0.60	0.50	2.25	2.50	
手足口病	0.06	0	0	0.25	0	0	0.25	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.13	0.43	0.17	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.47	0.57	0.83	0.25	0.60	0.25	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.69	0.57	0.17	0	0.80	0.25	0.25	5.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	0	0	0	1.00	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

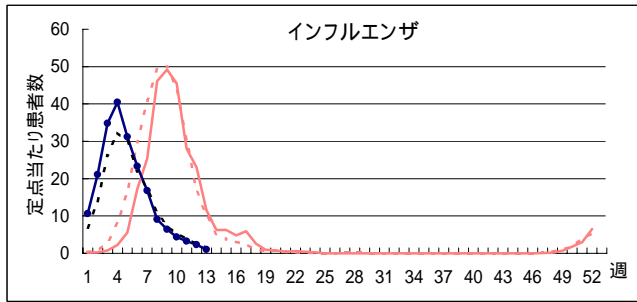
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



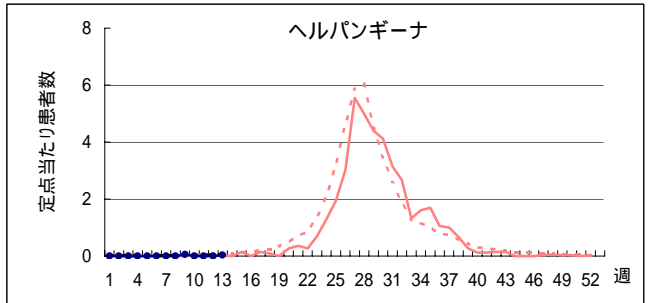
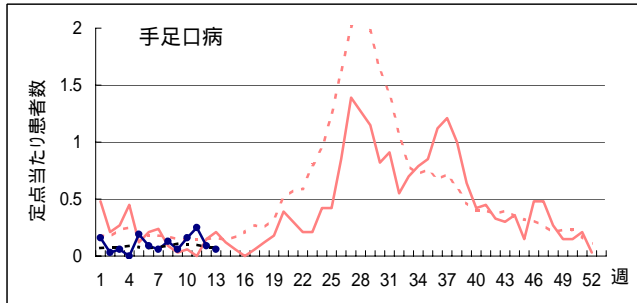
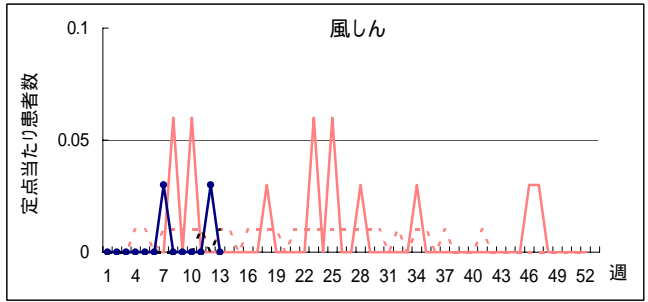
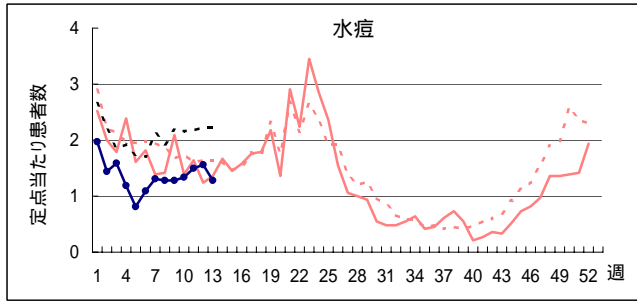
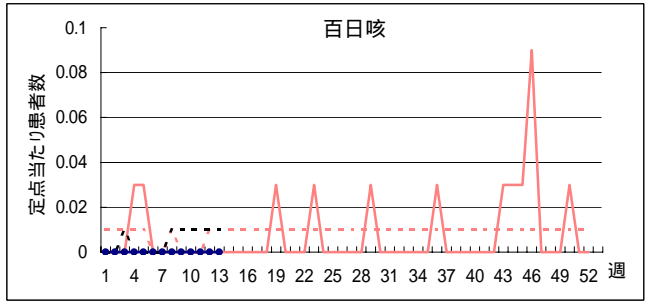
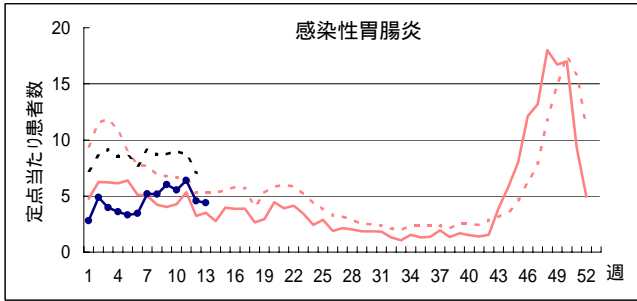
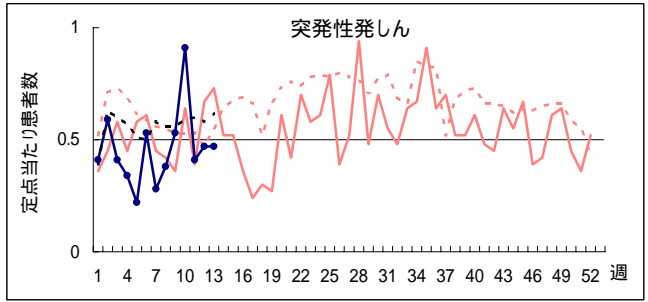
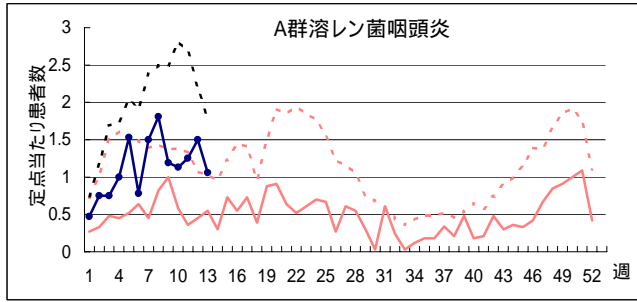
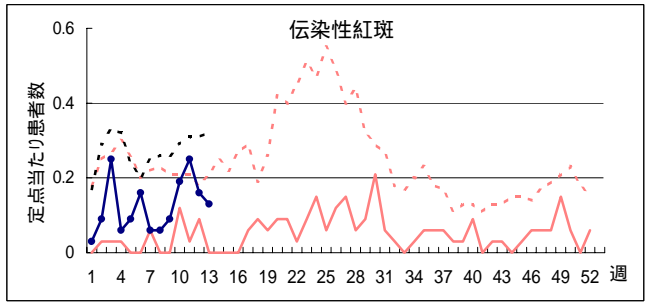
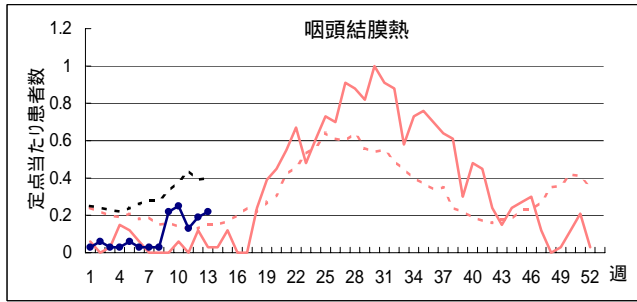
今週の発生状況：保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。

- インフルエンザ----- 全ての保健所で先週より減少していますが、大津および長浜ではやや多くなっています。
- 咽頭結膜熱----- 大津では先週と同じですが、高島保健所では先週よりやや多くなっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎----- 草津、甲賀および八日市で先週より多くなっていますが、先週、非常に多かった高島では減少しています。
- 感染性胃腸炎----- 県全体としては先週とほぼ同様ですが、大津および彦根で先週よりかなり多くなっています。
- 水痘----- 草津、長浜および高島でやや多くなっており、高島では先週より多くなっています。
- 手足口病----- 甲賀および長浜から報告されています。
- 突発性発しん----- 草津および東近江で先週よりやや多くなっています。
- 伝染性紅斑----- 大津で先週より多くなっています。
- 流行性耳下腺炎----- 草津、甲賀、東近江および高島で先週より多くなっています。特に、高島では急増し定点当たり患者数が5.5と非常に多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第13週、H18.1.2～H18.4.2)



H17 { 滋賀 ————
 全国 ······
 H18 { 滋賀 ●——●
 全国 ······



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第13週、H18.1.2～H18.4.2)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国

